

もっと  
すごい!

PORT OF HACHINOHE



2025年7月発行

NO. 56



ポート博士

# 八戸港だより



ハチヨウ



TOPIX

P2・物流2024年問題への取組  
・みなと通信

P3・八戸港台湾ポートセールス  
ミッション2024について

P4・2024年八戸港貨物取扱実績

P5・命をつなぐ物流戦略:医療機器の  
安定供給を支える地方港の力

P6・税関の概要及び八戸港外国  
貿易概況(令和6年)について

P7・八戸港コンテナ関連  
補助事業のご案内

P8・航路情報  
各お問い合わせ先等

# 物流 2024年問題への取組

## ～八戸地域物流問題講演会を開催しました～

文/八戸市商工課 毛呂 新 / 岩木 和人

近年、国際的な物流を取り巻く環境は、パンデミックや地政学的リスク、急速なデジタル化、環境規制の強化など、かつてないほどの変化と複雑性を増しています。

また、日本国内においても、令和6年4月からトラックドライバーの時間外労働規制が強化された「物流の2024年問題」の影響は大きく、トラックによる輸送力は、2030年度には34%不足すると推計されており、サプライチェーンの強靱化、業務の効率化、環境負荷の低減、人材不足への対応といった多方面での取組が求められています。

このように、物流業界全体での変革が求められている中、八戸市では、物流問題に関する現状の共有と八戸地域における政策の参考にすることを目的として、令和6年12月19日(木)に市内ホテルで「八戸地域物流問題講演会」を開催し、八戸市内の物流関連事業者、荷主、金融機関、行政関係者等約80名の方にご参加いただきました。

あおり創生パートナーズ株式会社の工藤代表取締役社長からは、「青森県の物流の現状について」と題して、青森県における物流の実態と課題、県内の地理的特性を活かした物流施策の取組について、ご講演いただきました。

流通経済大学流通情報学部の矢野学部長からは、「持続可能な物流構築に向けての新しい展開」と題して、2024年問題や全国的な物流危機を背景として、国の戦略や、各地方都市での事例を交えながら、幅広い視点から持続可能な物流の実現についてご講演いただきました。また、物流事業者だけでなく、荷主や一般消費者など、社会全体でサプライチェーンへの意識を持つことの重要性を唱えていただきました。

本講演会は、地域の物流課題に関する理解を深める貴重な機会となり、参加者からも高い関心が寄せられ、今後の施策や地域連携を進めるうえで、有益な示唆が得られる場となったと思われます。今後とも、八戸地域の円滑な物流環境の維持及び将来にわたって発展できる物流網の形成に向け取り組んでまいります。



流通経済大学流通情報学部 矢野学部長



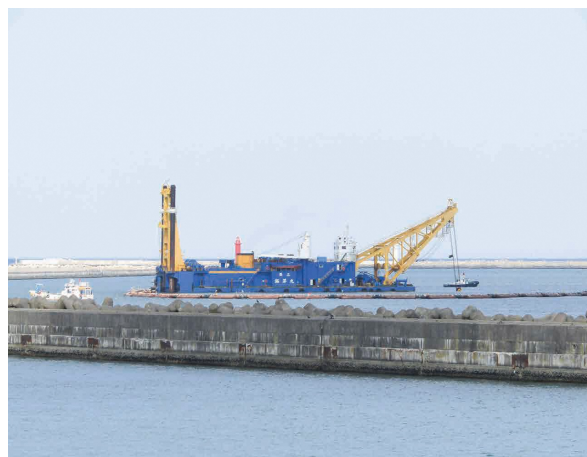
あおり創生パートナーズ(株) 工藤代表取締役社長



当事務所では、馬淵川からの流下土砂による八太郎地区・河原木地区航路泊地の埋没を解消するため航路泊地を所定の水深まで掘りさげる浚渫工事をポンプ浚渫船で行っています。所定水深を確保することで大型船の安全な航行や停泊が可能となり、物流機能を維持しています。

浚渫はポンプ浚渫船のラダー先端に取り付けられたカッターにより海底地盤を掘削します。掘削した土砂はポンプにより吸い込まれ、排砂管を通り約5km先の市川地区土砂処分場へ排出されます。

今年度も港湾利用者の皆様と調整した期間において、海上排砂管への標識灯設置や安全監視船を配備するなど安全第一で実施しますので、引き続き関係者各位のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



ポンプ浚渫船

# 八戸港台湾ポートセールスミッション2024について

～「青森県産りんごのスポット配船」の提案など、台湾でのポートセールスを実施～

文/八戸市商工課 いわき かずと 岩木 和人

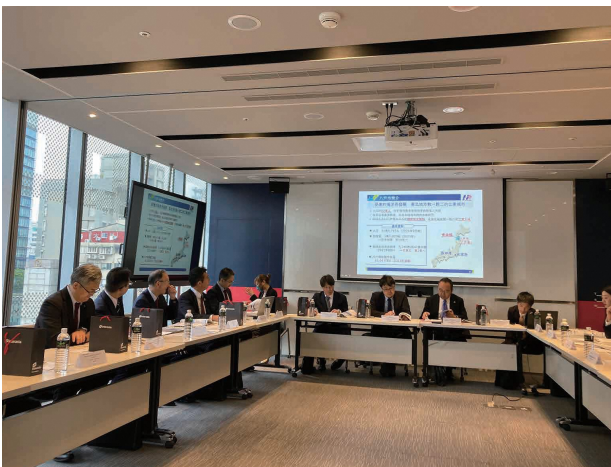
八戸港国際物流拠点化推進協議会と八戸市は、八戸ー台湾間の直行便による航路開設を目指し、令和6年11月11日～14日の期間、台湾(台北市)において、「八戸港台湾ポートセールスミッション2024(団長:熊谷八戸市長)」を実施しました。

台北市では、台湾船社であるINTERASIA LINES,LTD.及びT.S.LINES,LTD.を6年ぶりに訪問し、熊谷市長から、八戸港の現況やインセンティブについて説明するとともに、日本国内の物流問題等により、現在京浜港まで陸送されている貨物が、今後八戸港へのモーダルシフトが見込まれることを踏まえ、りんご等の台湾向け貨物が集中する「冬季間のスポット配船」について提案し、寄港に向けた意見を交わしました。

また、台北市内ホテルにおいて「八戸港レセプション」を開催し、台湾経済界、船社、荷主企業等80名に対して、八戸港の優位性や魅力などを紹介するとともに、八戸地域の水産加工品や日本酒、青森りんごなどを提供し、台湾バイヤーを含む参加者にPRしました。

その他、台北港の視察、台湾貿易センター(TAITRA)や、(公財)日本台湾交流協会台北事務所への訪問、また、現地スーパーである微風広場復興店の視察を通じ、八戸港のさらなる利活用や、青森県産品の海外販路拡大に向けて、各種情報収集を図ることができました。

今後も積極的なポートセールスを展開し、八戸港の振興に努めて参ります。



INTERASIA LINES,LTD.訪問



T.S.LINES,LTD.訪問



八戸港レセプション



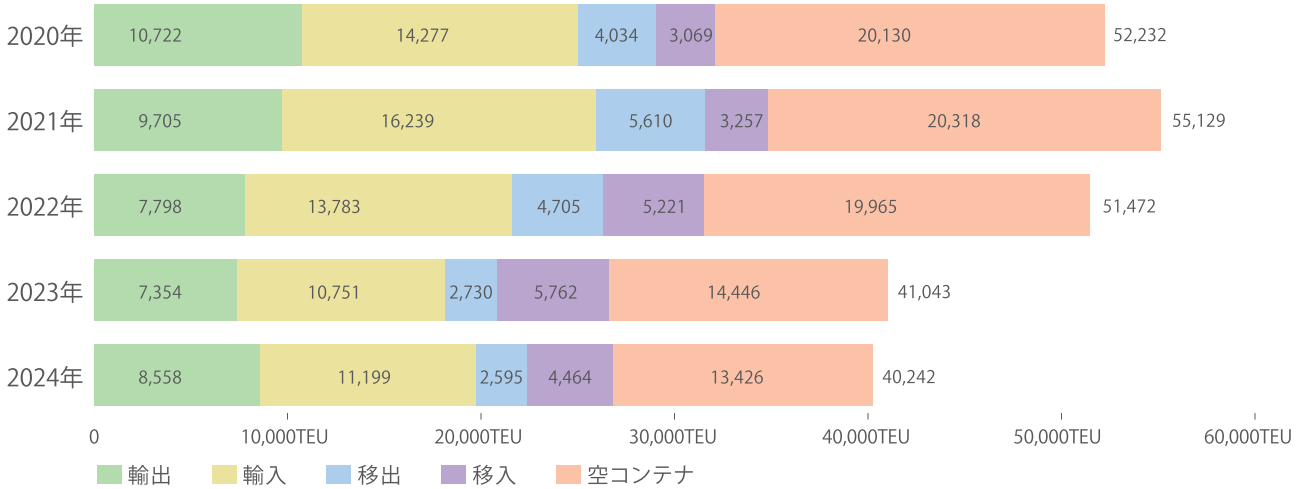
八戸港レセプション

# 2024年八戸港コンテナ貨物取扱量統計(速報値)

※八戸港国際物流拠点化推進協議会による独自集計

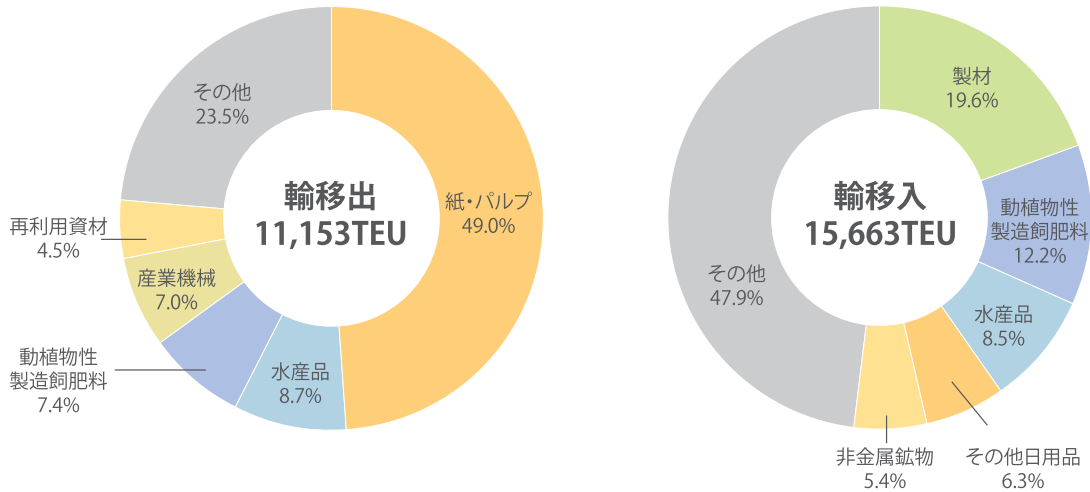
(単位:TEU)

## 取扱量の推移



※TEUとは、コンテナ船の積載能力を示す単位で、1TEUは20フィートコンテナ1個分を示します。コンテナを単純合計数で表示する代わりに、20フィートコンテナ1個を1、40フィートコンテナ1個を2として、コンテナ貨物量をこの数値の合計で表示する計算方法です。

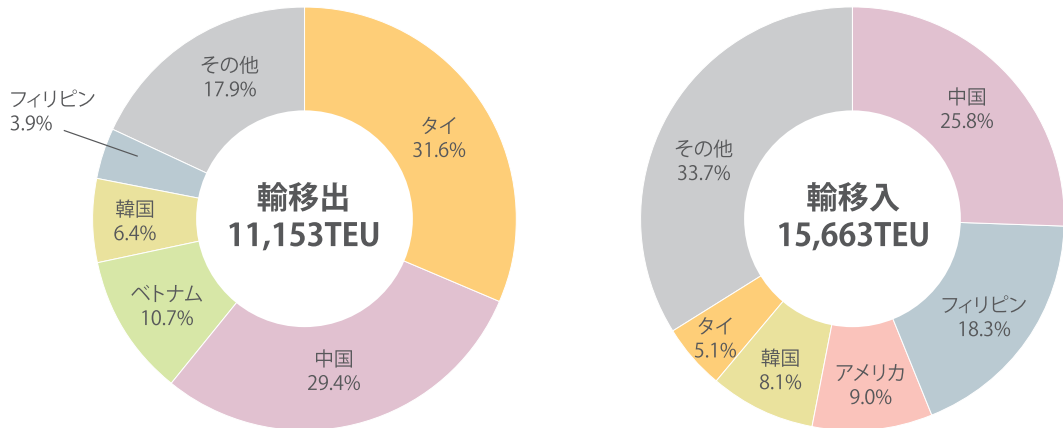
## 2024年 コンテナ貨物品種別内訳



2024年のコンテナ貨物の品種別内訳(コンテナ個数での割合)を見ると、輸移出では紙・パルプが49.0%で1位、輸移入では製材が19.6%で1位となっています。



## 2024年 コンテナ貨物国別内訳



国別の内訳をみると、輸移出はタイが31.6%で1位、輸移入は中国が25.8%で1位となっています。

※構成値の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は、100%とならない場合があります。



# 命をつなぐ物流戦略：医療機器の安定供給を支える地方港の力

文／ニプロ株式会社 国際事業部ロジスティクス部

弊社は、国内外において透析分野を主軸とした医療機器・医薬品・ファーマパッケージングの製造販売、医療研修施設運営など、幅広く事業展開を行っているグローバル総合医療メーカーです。世界各地に製造拠点を構える中、マザー工場である「大館工場」は秋田県大館市に位置しています。当社主力製品である人工腎臓ダイアライザを含めた多種の医療機器を大館市にて製造・輸出・販売しています。

当部署では各工場から海外拠点までの国際物流を管理しています。当社の製品力と市場シェアの向上に伴い、世界からの期待が高まり、社会的責任も大きくなる中で、患者さん、ユーザーに確実に製品をお届けする、即ち「安定供給」を使命に日々取り組んでおります。

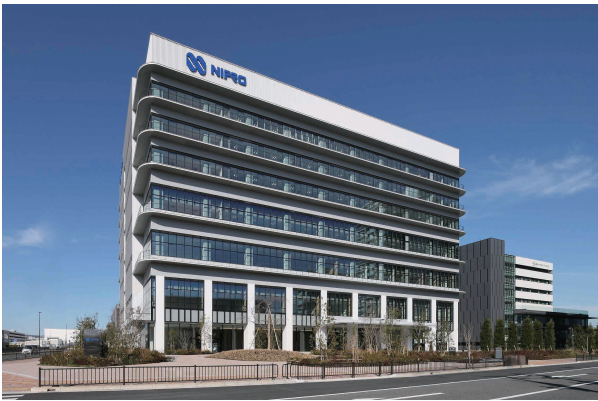
地方港利用を検討する背景には、いわゆる「2024年問題」による長距離ドライバー不足への懸念がありました。

今後、大館工場から京浜港までの長距離輸送がより困難になる可能性も想定されます。工場近隣の港を活用することで、輸送距離の短縮によるドライバーの確保のしやすさに加え、輸送コストやCO<sub>2</sub>排出量の削減にもつながることが分かりました。

また、当社医療機器の販売数は年々増加しており、それに伴い出荷量も増加傾向にあります。出荷先の港が限定されている場合、有事の際には物流が滞るリスクが生じます。利用港の選択肢を広げておくことは、BCPの観点からリスク分散にもつながり、さらなる出荷増にも柔軟に対応することが期待できます。こうした観点から、弊社では地方港への積極的なモデルシフトを推進しております。

さらに、太平洋側に位置する八戸港は天候面で安定運航という大きな利点があります。悪天候による船のスケジュールの乱れは、医療機器を安定的に届けるうえで大きな障害となります。私たちにとって、医療機器の安定供給という社会的責任を果たすことは医療に携わるエッセンシャルワーカーとしては何よりも重要です。その点で安定した運用が期待できる八戸港は、非常に有力な選択肢となっております。

昨年度は、毎月のように八戸港を利用させていただきました。今後とも、貴港の利便性を活かしながら、八戸港の発展と関係者の皆様のご支援の下、共にさらなる物流体制の強化を図って参りたいと考えております。より一層のサービス向上を期待しております。



大阪本社の外観



大館工場の外観

# 税関の概要

## 及び 八戸港外国貿易概況(令和6年)について



文／財務省函館税関八戸税関支署 支署長 にし で まさし 西出 真志

税関は、財務省の地方支分部局であり、函館、東京、横浜、名古屋、大阪、神戸、門司及び長崎の8税関並びに沖縄地区税関が設置されております。

この区域は幕末に外国に対して開港した港を中心としており、当時は「うんじょうじょ運上所」と呼ばれていましたが、明治5年(1872年)11月28日に名称が「税関」と改められ、令和4(2022)年には、発足から150周年を迎えました。

八戸には、北東北と北海道を管轄する函館税関の支署として、八戸港が外国貿易の港として開港された昭和14年に八戸税関支署が設置されました。当支署が管轄している区域は、八戸市のほか、青森県南地区と岩手県北地区も含んでおり、一つの官署が異なる県を管轄することは全国でも珍しく、函館税関管内では唯一の官署となっております。

税関の業務には、貨物の輸出入通関や船舶・航空機の取締りなど様々な業務がありますが、その中の1つに貿易統計の業務があります。

貿易統計は輸出入される貨物の実態を集計したもので、貿易の実態を詳細かつ正確に示す唯一の経済指標であり、我が国の経済政策や企業の経済活動の資料として、様々な方面で利用されており、八戸税関支署においても、当支署にて輸出入通関をした貨物の実績を集計し、毎月、作成及び公表をしております。

### ○八戸港外国貿易概況(令和6年)〔速報値〕

八戸港における令和6年の輸出入貿易額は、2,826億円となり、前年より15.3%の減少となった。

輸出貿易額は、主要品目である船舶類の減少や水産物の中国での禁輸措置等の影響により、747億円と前年より20.9%減少した。

輸出の品目別では、電気機器類98億円(対前年比138.4%)、一般機械44億円(同175.5%)等が増加したものの、船舶類318億円(同81.4%)、紙及び板紙66億円(同93.4%)、魚介類及び同調整品30億円(同80.4%)が減少した。

仕向国別輸出額の上位5か国は、中国、パナマ、タイ、台湾、大韓民国の順となっている。

輸入貿易額は、とうもろこしなどの飼料原料の輸入額が減少したこと等により、2,079億円と前年より13.1%減少した。

輸入の品目別では、垂鉛鉱223億円(対前年比152.2%)等が増加したものの、とうもろこし369億円(同88.8%)、石油ガス類332億円(同83.7%)、植物性油かす228億円(同80.5%)、ウッドチップ168億円(同92.2%)が減少した。

仕出国別輸入額の上位5か国は、オーストラリア、アメリカ、ブラジル、中国、タイの順となっている。

今後は、中国の日本産水産物の禁輸解除の動きやモーダルシフトの動向などを注視し、八戸港の貿易動向を見守っていきたい。



税関ロゴマーク



税関イメージキャラクター 『カスタム君』



2025年度

# 八戸港コンテナ関連 補助事業のご案内



申請受付期間 2025年7月1日(火)～11月28日(金)

補助対象期間 2025年1月1日(水)～12月31日(水)

## 1 ① 新規・シフト貨物利用促進事業費補助金(②、④とは併用不可)

助成対象

アまたはイのいずれかを満たす荷主  
ア、八戸港を新規に利用してコンテナ貨物の輸出入を行う荷主(過去2年間利用なし(※1))  
※1 補助金の申請ではなく、実際のコンテナ貨物の利用が過去2年間(2023年1月～2024年12月)ない場合を指す  
イ、『八戸港でのコンテナ貨物取扱量を前年同期比で増加』させ、かつ、『シフト貨物(昨年他港利用貨物と同一品目を八戸港へシフトさせた貨物)を有する』荷主

助成金額

補助対象期間における新規貨物・シフト貨物の取扱量(※2)に応じて **20,000円/TEU**

(※2)シフト貨物の場合、「シフト貨物増加分」または「八戸港での前年比取扱総量の増加分」のいずれか少ない値を適用

リーファーコンテナ加算 リーファーコンテナ利用分に対して**2,500円/TEU**(一荷主上限25万円)

県産農畜産品・農畜水加工品(輸出)加算[新設]

貨物が青森県産農畜産品・農畜水加工品コンテナ利用分であり、輸出するコンテナに対して**2,500円/TEU**(一荷主上限20万円)

➡ **1荷主あたり最大245万円補助!**

## ② コンテナ貨物陸送費支援補助金(②、④とは併用不可)

助成対象

八戸港でのコンテナ貨物取扱量を前年同期比で増加(新規利用含む)させる荷主

助成金額

出荷・納品場所と八戸港コンテナターミナル間が直線距離で**30km以上**離れている輸出入貨物の陸送経費※の3分の1以内の額(上限は下表のとおり)※トラック、トレーラー等の輸送費及び付帯する電源シャーシ利用料。ただしパンニング料及び倉庫保管料は除く。

陸送距離	補助単価の上限
30km以上100km未満	<b>10,000円/TEU</b>
100km以上200km未満	<b>20,000円/TEU</b>
200km以上	<b>25,000円/TEU</b>

➡ **1荷主あたり最大180万円補助!**

## 2 八戸港モーダルシフトトライアル輸送事業費補助金(①、④とは併用不可)

助成対象

前年他港を利用した貨物について八戸港で**トライアル輸送経費**を実施する荷主

助成金額

補助対象経費(海上運賃、日本国内輸送経費、通関費用、輸出入の手続き)の**2分の1以内**の額  
※輸送回数は最大3回まで

➡ **1荷主あたり最大100万円補助!**

## 3 コンテナ定期航路運航支援補助金

助成対象

外航航路(八戸港と海外の港湾を起点、寄港地又は終点とする航路)又は国際フィーダー航路(八戸港と東京港、横浜港又は川崎港のいずれかを起点又は終点とする航路)を有する船社

助成金額

[新規航路の開設、トライアル運航、スポット配船:八戸港への寄港回数]及び[既存航路:令和7年における八戸港への寄港回数から、令和6年における八戸港への年間寄港回数を差し引いた回数]

① 外航航路:1寄港あたり **30万円 最大150万円補助!**

② 国際フィーダー航路:1寄港あたり**27万円 最大135万円補助!**

荷主向け

船会社向け

申請受付期間 2026年1月5日(月)～1月30日(金)

補助対象期間 2025年1月1日(水)～12月31日(水)

## 4 継続大口利用者支援助成金(①・②とは併用不可)

助成対象

八戸港で3年間(当年及び過去2年)のコンテナ貨物平均取扱量が**150TEU以上**の荷主

助成金額

当年取扱量に応じて **1,000円/TEU** **1荷主あたり 最大150万円補助!**

## 5 八戸港くん蒸上屋利用事業費補助金

助成対象

八戸港くん蒸上屋を利用する荷主

助成金額

1室1回あたり **50,000円**

丸大豆、原木、牧草などに使われておるんじゃ!



## 6 小口混載貨物輸送事業費補助金

助成対象

八戸港で小口混載貨物サービスを利用して輸出入を行う荷主

助成金額

貨物R/T(1t又は1m<sup>3</sup>のいずれか大きい方)あたり **3,000円**

コンテナに満たない小口の積載量でも補助されるんだ!



## 7 小口混載貨物サービス事業支援助成金

助成対象

八戸港で小口混載貨物サービスを提供する事業者

助成金額

小口混載貨物を対象に **50,000円/コンテナ**

LCI事業者向け

荷主向け

# 八戸港コンテナ定期航路就航状況 (2025年7月現在)

□ 外航 □ 国際フィーダー □ 国内航路

コンテナ航路	船社名(日本総代理店)	集荷代理店	寄港間隔	寄港地
中国・韓国航路 (共同配船)	南星海運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便 (月) 共同配船	(NCQ航路) 青島→大連→釜山→新潟→秋田→苫小牧→ <b>八戸(月)</b> →仙台→常陸那珂→釜山新港→ 釜山→蔚山→光陽
	高麗海運(株)	ナラサキスタックス(株) 八戸支店		
韓国航路 (協調サービス)	長錦商船(株)	八戸通運(株)	週1便 (土) 協調サービス	(THS2航路) 釜山→釜山新港→常陸那珂 →塩釜→ <b>八戸(土)</b> →釜山
	興亜LINE(株)	北日本ポート サービス(株)		
北米航路	Swire Shipping	八戸港湾運送(株)	休止中	—
国際フィーダー 航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運(株)	週1便(金)	横浜→苫小牧→八戸(金)→釜石→仙台→横浜
	井本商運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便(金)	横浜→八戸(金)→釜石→横浜
	鈴与海運(株)	八戸通運(株)	週1便(火)	横浜→八戸(火)→苫小牧→横浜
国内航路	鈴与(株)	八戸港湾運送(株)	月1便	清水→市原→大船渡→八戸→苫小牧→函館

## 主な寄港地と八戸港の所要日数(最短) (2025年5月現在)

寄港地	輸出	輸入
釜山(韓国)	2	5
光陽(韓国)	4	※
蔚山(韓国)	3	※
基隆(台湾)	13	10
台中(台湾)	14	10
高雄(台湾)	17	7
香港(中国)	10	12
大連(中国)	10	8
青島(中国)	9	10
上海(中国)	10	11
天津新港(中国)	10	11
寧波(中国)	8	10

寄港地	輸出	輸入
蛇口(中国)	9	12
シンガポール	14	18
レムチャパン(タイ)	14	17
マニラ(フィリピン)	12	12
ホーチミン(ベトナム)	12	14
ハイフォン(ベトナム)	13	16
タンジュンプリオク(インドネシア)	21	18
ムンバイ(インド)	36	30
ポートクラン(マレーシア)	20	22
ドバイ(UAE)	35	39
タコマ(米国西岸)	23	25
ロングビーチ(米国西岸)	27	26

寄港地	輸出	輸入
シアトル(米国西岸)	23	25
ニューヨーク(米国東岸)	48	56
バンクーバー(カナダ)	26	19
ブリスベン(オーストラリア)	30	27
オークランド(ニュージーランド)	34	26
サウサンプトン(イギリス)	56	55
ルアーブル(フランス)	56	53
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	57	60
ハンブルク(ドイツ)	58	56
ロッテルダム(オランダ)	49	53
アントワープ(ベルギー)	56	54

※光陽・蔚山(韓国)については、釜山にまとめた後に輸入されます。

## 八戸港ご利用のお問い合わせは次の各社へ!

### 海貨業者

- ◆八戸通運株式会社 海運部  
(株)シノコー-成本、(株)横浜コンテナライン 集荷代理店  
TEL:0178-29-0202 FAX:0178-20-3281
- ◆八戸港湾運送株式会社 営業部 港湾物流課  
(南星海運ジャパン(株)、  
スワイヤー・シッピング・プライベート・リミテッド(SWIRE SHIPPING)、  
井本商運(株)、鈴与海運(株)、鈴与(株)、  
オリエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド(OOCL)日本支社、  
インターエイシアライン(株) 集荷代理店)  
TEL:0178-29-3177 FAX:0178-29-3118
- ◆新丸港運株式会社 営業部  
TEL:0178-20-2325 FAX:0178-20-2356
- ◆八戸運輸倉庫株式会社 営業部  
TEL:0178-28-2401 FAX:0178-28-6976
- ◆三八五流通株式会社 八戸区域事業所  
TEL:0178-52-7755 FAX:0178-52-7751
- ◆日本通運株式会社 八戸支店  
TEL:0178-20-3040 FAX:0178-20-3154
- ◆ナラサキスタックス株式会社 八戸支店  
(高麗海運ジャパン(株) 集荷代理店)  
TEL:0178-21-6000 FAX:0178-21-6050
- ◆北日本ポートサービス株式会社  
(SITC JAPAN(株)、興亜LINE(株) 集荷代理店)  
TEL:0178-20-2148 FAX:0178-29-3130

### 海運会社(国内総代理店)

- ◆南星海運ジャパン株式会社 【東京都】 中国・韓国航路 TEL:03-5843-6100 FAX:03-5843-6110
- ◆高麗海運ジャパン株式会社 【東京都】 中国・韓国航路 TEL:03-3500-5051 FAX:03-3500-5095
- ◆株式会社シノコー-成本 【東京都】 韓国航路(長錦商船(株) (興亜LINE(株)) TEL:03-3273-4981 FAX:03-3281-8605
- ◆SWIRE SHIPPING 【東京都】 北米航路  
TEL:03-6452-9061
- ◆株式会社横浜コンテナライン 【横浜市】 国際フィーダー航路(横浜)  
TEL:045-227-8863 FAX:045-681-8885
- ◆井本商運株式会社 【神戸市】 国際フィーダー航路(東京・横浜)  
TEL:078-322-1600 FAX:078-322-1620
- ◆鈴与海運株式会社 【静岡市】 国際フィーダー航路(東京・横浜)  
TEL:054-354-3100 FAX:054-354-3102  
【東京営業所】 TEL:03-3432-7159 FAX:03-3432-0896
- ◆鈴与株式会社 【静岡市】 国内定期航路(清水・苫小牧)はこ廻船東廻り航路  
TEL:054-365-1348 FAX:054-365-1311
- ◆オリエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド(OOCL)  
日本支社【東京都】 インド・東南アジア航路(横浜港トランシップ)  
TEL:03-3493-6001 FAX:03-3493-6405
- ◆インターエイシアライン株式会社 【東京都】 東南アジア航路(横浜港トランシップ)  
TEL:03-3493-6001 FAX:03-3493-6405
- ◆SITC JAPAN株式会社 【東京都】 中国・アジア航路(横浜港トランシップ)  
TEL:03-6262-7778 FAX:03-6262-7117
- ◆オーシャンネットワークエクスプレスジャパン 【東京都】(横浜港/釜山港トランシップ)  
TEL:050-1745-0302(アジア・オセアニア向け) 050-1745-0524(アジア・オセアニア向け以外)
- ◆ジャパン・パン・ラインズ株式会社 【東京都】 小口混載貨物サービス(輸出)  
TEL:03-6779-9610 FAX:03-6779-9650
- ◆イーキューワールドワイド株式会社 【東京都】 小口混載貨物サービス(輸出入)  
TEL:03-5643-3600 FAX:050-3153-1658



## 八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

事務局 / 八戸市商工労働まちづくり部商工課 貿易・物流対策グループ  
〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市庁別館5階 TEL.0178-43-2111(代表) TEL.0178-43-9244(直通) FAX.0178-43-2146  
<E-mail> hppc@hachinohe-port.org <ホームページ> https://hachinohe-port.org/

